

平成27年度の 地域密着型金融の取組み状況

目次

1. 地域密着型金融の取組みの概況について……………1
2. 具体的な取組み内容について……………1
 - (1)顧客企業に対する
コンサルティング機能の発揮…………… 1
 - (2)地域の面的再生への積極的な参画……………7
 - (3)地域や利用者に対する積極的な情報発信……………8

1. 地域密着型金融の取組みの概況について

平成27年度は、年度後半以降に新興国経済の減速や原油価格下落に伴う世界経済の下振れリスクが懸念され、今年1月には日本銀行によりマイナス金利政策が導入されました。当地域の状況を見ますと、大手企業等を中心に緩やかに改善してきておりますが、地域経済の担い手である中小企業等は、一部に弱さが見られます。

こうした状況の中、当金庫は地元根ざした金融機関として、お客様との長年にわたって築いてきたより良い関係に基づいて、平成27年度も資金供給者としての役割にとどまらず、金融円滑化や経営改善支援に営業店と本部が一体となってお客様のニーズに応じた取組みを推し進めました。

2. 具体的な取組み内容について

(1) 顧客企業に対するコンサルティング機能の発揮

1-1 ライフステージ等に応じた取引先企業への支援

● 創業・新事業開拓を目指す企業への支援

創業・第二創業に対する融資支援

コンサルティング機能の発揮による平成27年度の創業・第2創業支援への取組実績は、23件304百万円となりました。

認定経営革新等支援機関としての創業・新事業支援

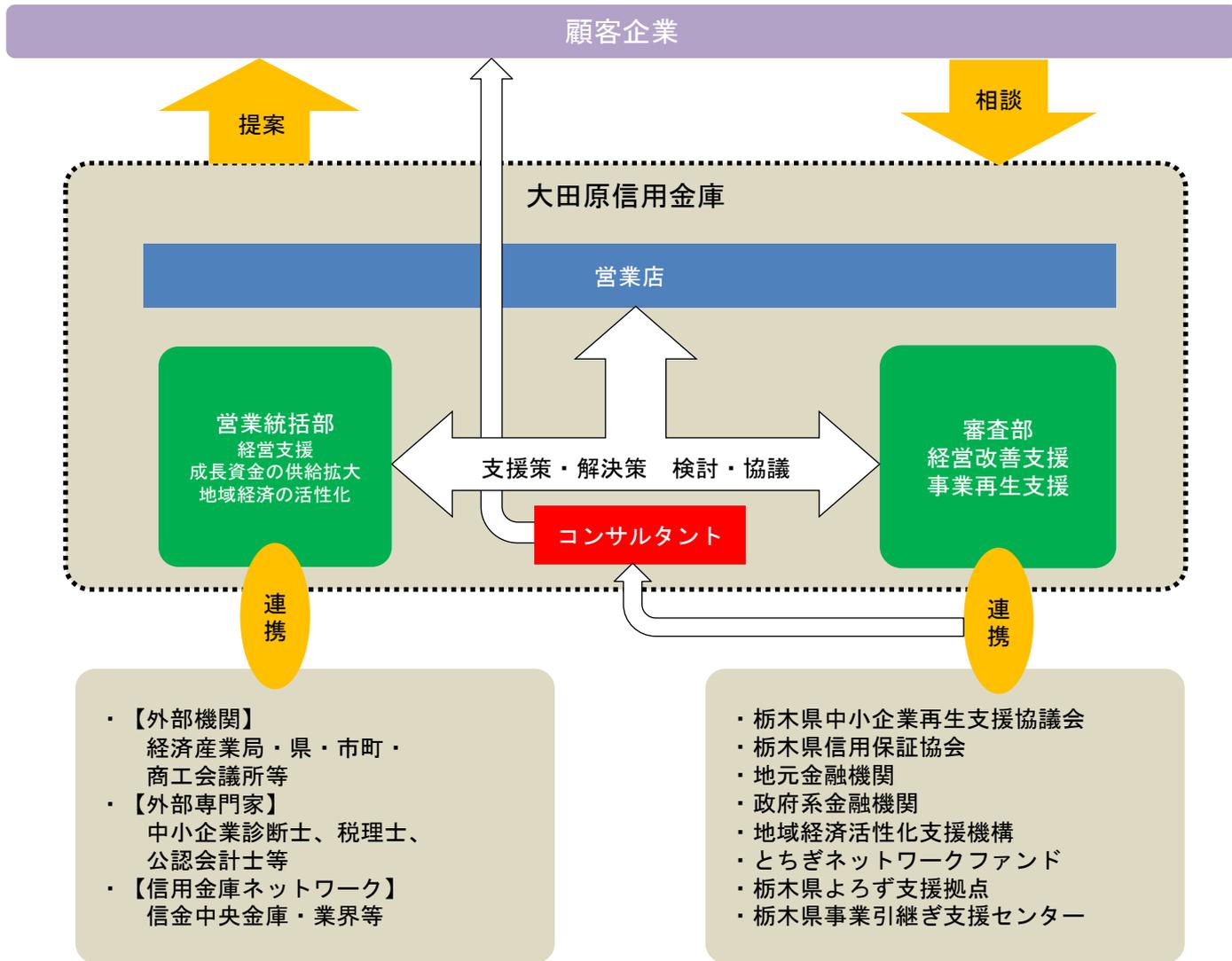
認定支援革新等支援機関として創業補助金申請に対する助言対応等の支援を行っています。

平成27年度の創業補助金申請は2件のうち2件が採択となりました。なお、他認定支援機関との連携は1件で1件採択です。

平成26年9月に(株)日本政策金融公庫と「業務連携・協力に関する覚書」を締結し、創業者に方からのご相談に対し、相互のノウハウを補完・共有しながら、きめ細かなサービスをワンストップで提供する「創業サポートサービス」の取扱を開始しています。

●成長段階における更なる飛躍が見込まれる企業への支援

中小企業の経営支援に関する態勢組織図



ビジネスマッチングを活用した販路拡大支援

事業拡大支援の取組みとして、ビジネスマッチングによる販路拡大のサポートに積極的に取組みました。

- ①平成27年度のビジネスマッチングの成約件数は8件でした。
- ②平成27年11月に「ものづくり企業展示・商談会2015」を共催し、当金庫お取引先5社に参加いただきました。
- ③平成28年1月に「とちぎ食の展示・商談会2016」を後援し、当金庫お取引先2社に出展いただきました。
- ④平成28年3月に城南信用金庫が開催した「2016全国！うまいもん発掘大商談会」に当金庫お取引先2社に参加いただきました。
- ⑤信金中央金庫と(株)イプロスが提携した「イプロス製造業(インターネットによるビジネスマッチング)」の登録募集を行い(当金庫お取引先10社が参加)、販路拡大支援に取組みました。

事業拡大のための資金需要に対応

事業価値(事業実態)に基づいた融資を強化するため、「目利き力」を発揮して融資する商品を取り扱っております。法人代表者以外の保証と不動産担保を原則不要とした「事業活性化資金」、「商工いきいき特別保証制度」などを積極的に推進しています。平成27年度の実行件数は43件、実行金額は422百万円でした。

【平成27年度の実行実績】

	件数	金額(百万円)
事業活性化資金	32	377
商工いきいき特別保証制度	11	45
計	43	422

「経営者保証に関するガイドライン」への取り組み

当金庫は、平成26年2月1日から適用となった「経営者保証に関するガイドライン」の趣旨に則り、経営者保証に依存しない融資の一層の促進を図っています。

【「経営者保証に関するガイドライン」の概要】

- (1) 法人と個人が明確に分離されている場合などに、経営者の個人保証を求めないこと
- (2) 多額の個人保証を行っていても、早期に事業再生や廃業を決断した際に一定の生活費等（従来の自由財産99万円に加え、年齢等に応じて100万円～300万円）を残すことや、「華美でない」自宅に住み続けられることなどを検討すること
- (3) 保証債務の履行時に返済しきれない債務残額は原則として免除すること

海外進出支援

・経済産業省および外務省が実施する「海外展開一貫支援ファストパス制度」に紹介元支援機関として参加しています。

<相談スキーム>



※経済産業省HPより転載

●経営改善が必要な企業への支援

経営改善支援への積極的な取組み

審査部内に専担部署（経営改善支援グループ）を設け、平成27年度は355社のお取引先に対して経営改善支援に取り組ました。（お取引先事業先の27.9%）この355社のお取引先のうち55社が経営改善計画書（策定率15.5%）を策定して、経営改善に取り組んでいます。未だ地方は厳しい経済環境が続くなか、改善に兆しが見られた先も多々あり、一定の成果があったものと考えます。

金融円滑化への積極的な取組み

「中小企業円滑化法」の趣旨を十分に理解して、中小企業者に対する金融の円滑化、資金調達余力確保のために、政府や信用保証協会の制度等を積極的に活用し、スピーディーな対応に努めました。

平成25年3月に同法の期限は到来していますが、その後も当金庫の対応方針に何ら変わりなく、お客さまからのお借入に関する相談、お申込みについては真摯な対応に努めてまいります。

平成27年度 条件変更等の実行件数	
中小企業者	546件
住宅資金借入者	16件

●事業再生や業種転換が必要な企業への支援

「とちぎ中小企業支援ネットワーク」を活用した取組み

根本的な経営改善を必要とする取引先企業の早期事業再生のため、「とちぎ中小企業支援ネットワーク」の機能を十分活用し、中小企業再生支援協議会や信用保証協会などの外部機関や他の金融機関との連携、また経営コンサルタントや公認会計士、税理士などの外部専門家との連携に努め、各種企業再生スキーム等により事業再生支援に取り組んでおります。

平成27年度は、中小企業再生支援協議会および経営サポート会議に6件を案件として持込みました。とちぎネットワークファンドを活用した事業再生の取組を1件実施しました。

●事業承継が必要な企業への支援

中小企業の事業承継問題の解決手法

営業店と本部が連携体制を構築し、事業承継や後継者問題を抱える取引先企業に対して、コンサルティング提携会社の紹介を行っています。

平成24年11月、しんきんキャピタル(株)及び(株)日本M&Aセンターと「M&A仲介業務に関する協定書」を締結しております。

1-2 コンサルティング機能の強化

目利き能力、コンサルティング機能の強化

中小企業等の経営支援や資金ニーズに適切に対応するため、事業性評価に基づく融資推進に向けた取組として、事業価値や将来性を見極める「目利き力」を強化するよう人材の育成にも積極的に取り組んでいます。具体的には、全国信用金庫協会等が主催する外部研修へ6講座14名を派遣しました。また、金庫独自の内部研修には5講座11名が参加しました。更に、平成27年11月に信金中央金庫の協力を得て「事業承継セミナー」を開催し、66名が参加しました。

中小企業診断士および社会保険労務士の資格を有する職員を採用し、お客さまへのコンサルティング機能の一層の強化に努めています。

(2) 地域の面的再生への積極的な参画

● 地域経済の活性化

成長分野の育成

成長分野の育成に積極的に取り組み、平成27年度の融資実績は41件836百万円となりました。

地方公共団体による地域活性化プロジェクトへの参画

栃木県が中心となって設立した「フードバレーとちぎ」への参画、大田原市の活性化を目的とした「(株)大田原まちづくりカンパニー」や「(株)大田原ツーリズム」へ出資し、地域活性化プロジェクトに積極的に取り組んでいます。

平成28年3月、大田原市未来創造戦略に基づく施策の推進を目的に、大田原市と「地方創生に係る包括連携に関する協定書」を締結しました。



大田原市との「地方創生に係る包括連携に関する協定書」の締結

地域の将来を担う子どもたちのための支援

子育て世代に対する支援として、平成27年度の「子育て支援住宅ローン」取扱実績は77件1,561百万円となりました。

平成20年度より、当金庫エリアの4市町村の図書館に「だいしん文庫」として継続的に寄付を行っています。8回目となる平成27年度は、1,500千円の寄付を行いました。

(3)地域や利用者に対する積極的な情報発信

●地域経済の活性化

地域経済への多様な情報提供



「だいしん経営塾」講演会



「信樹会」勉強会(美原支店)



「だいしん会」発足会(野崎支店)

だいしん経営塾

経営者で組織する「だいしん経営塾」は、参加企業の業績向上と地域社会の発展に貢献する目的で設立され、定期的に勉強会、講演会、情報交換等を行っております。年1回の講演会では著名な講師を招き、「だいしん経営塾」の会員企業以外の一般の方の参加も多数あり、好評をいただいております。平成27年度は2月にタレント・山形弁研究者であるダニエル・カール先生を招き『がんばっぺ！オラの大好きな日本』についてご講演いただきました。〈〈例会3回開催 参加者数80名〉〉 〈〈講演会1回開催 来場者数310名〉〉

信樹会

「信樹会」は、次代を担う若手の企業経営者によって組織されております。定期的に勉強会、講演会、情報交換会等を開催し、会員の経営能力向上や会員企業の業績向上に努めております。

だいしん会

営業店単位で組織し、勉強会や情報交換会等を定期的に行っております。なお、だいしん会を組織する店舗は、本店営業部・黒磯支店・西那須野支店・野崎支店・東那須野支店・美原支店の6店舗です。

●地域密着型金融の取組みの発信

ディスクロージャー誌やホームページを活用した情報提供

当金庫の中小企業円滑化法期限到来後の対応方針および金融円滑化への取組み状況についてはホームページに掲載しており、中小企業の経営の改善および地域の活性化のための取組みの状況についてはディスクロージャー誌に掲載しています。